



2018年12月

第282号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 久保田 貞視
副会長 花輪 宗命・並木信一
書記 多河敏子・長谷川あや子
会計 小口 多津子
ネット会長 久保田佐和子
担当主事 中里 敦
プリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 重子・多河 敏子
直前会長 小口 多津子

国際会長 Moon Sang Bong (韓国) 主題 “Yes, we can change”
スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」
アジア地域会長 田中博之(東日本区) 主題 Action 「アクション」
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」
東日本区理事 宮内友弥 (東京武蔵野多摩) 主題: 「為せば、成る」
副題「ワイズが何をしてくれるかでなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」
あずさ部部长 廣瀬 健 (甲府21) 主題「未来はそれを備える人のものである」
クラブ会長 主題「動こう、動かそう！」副題「変わろう、変えよう！」

12月例会プログラム

(クリスマス例会)

日時: 12月22日(土)17:00~21:00

(担当:C班 茂木、大久保、多河、眞野、辻、山本)

会場: 大学セミナーハウス

第1部 さくら館セミナー室A 17時~18時

受付: 大久保、多河(開始: 16:40~)

参加費: メン: 2,500円 ネット・ゲスト・ビジター: 3,500円

学生: 1,500円

司会: 山本英次 奏楽: 永町匡世さん

開会点鐘 久保田会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

キャンドル点火

讃美歌 II編 167番

聖書・祈祷

奨励 並木信一

讃美歌 112番

黙祷

キャンドル消灯

東京YMCA報告 担当主事 中里

報告・連絡事項 会長・担当者

閉会点鐘 久保田会長

第2部 祝う会 本館多目的ホール 18時~21時

司会 茂木

演奏 永町 匡世

開会あいさつ

司会: 茂木

ゲスト・ビジター紹介

久保田会長

乾杯

直前会長: 小口

会食

宴会 みんなで楽しく

中里

ひつじぐも余興

ひつじぐも一同

ハッピーバースデー

久保田会長

スマイル (多摩いのちの電話のために)

大久保

閉会

司会者: 茂木

記念撮影

先月の例会ポイント (11月)

BF ポイント

在籍	17名	切手 (国内・海外)	40g
メン	13名	累計	328g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	82.3%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	4,019円
ゲスト	2名	累計	33,034円
ビジター	0名	オークション	0円
ひつじぐも	2名	累計	0円

聖句

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。」
(創世記1章1~5節)

巻頭言

YMCA 西東京センターの「ペタペタ歩き」

小口多津子

「地域包括ケアシステム」ってなに？

(11月例会のテーマから)

並木 信一

今後、日本の総人口は減少するけれど、総人口に占める高齢者の割合は増加を続け、とりわけ、75歳以上の後期高齢者の割合が大きくなります。

高齢者は身体的、経済的、社会的に自立性が乏しくなり、若者に比べて多方面に亘って多くの社会的な支援を必要とします。そして、おざなりではなく、真に人間としての尊厳が守られ、幸福感をもって生活できるような支援をするには、膨大な人的、経済的な資源を必要とします。

特に必要とされるのは、人々の意識(人間観・価値観・社会間など)の変革や社会システムの再構築。このことに、正面から向き合います。として提起されてきたのが、「地域包括ケアシステム」の構築といえます。(これは、私なりの着飾った説明の仕方です。)

11月の例会では、八王子市で生活支援コーディネーターとして働く、高齢者福祉課の林 一夫さんと、社会福祉協議会の立川恭子さんをお招きし、あらためて、この「地域包括ケアシステム」の背景や構造、地域における働きの具体例などをお話いただきました。

また、「地域包括ケアシステム」をあらためて定義づければ、「高齢者が安心できる生活を送ることができるよう、医療や介護の専門的な支援だけでなく、住民自らが主体となって活躍する“生活支援・介護予防”の取り組みを統合させることで人々や機関、グループが役割を分担しながら足りなくなる支援を補い合う仕組みである」との説明もうけました。

人が生きていくために必要な助けの力に、「自助」、「互助」、「共助」、「公助」の「四助」が必要と言われますが、要するに、これらをどのように効果的に機能させ、バランスさせていくか、ということが「システム」の柱になっていることが、ゲストスピーカーの話の中からは伺えました。

今月の例会のテーマの裏には、「急速に進む「少子・高齢化」社会の現実、全ての世代を覆うものであり、姑息にすりぬけていくことのできるような問題ではないこと。人間が尊厳を持って生きるために、どのような思想と社会の構造が必要かを考えよう」と言う、大切な呼びかけがありました。

1年に2回、11月3日と4月29日の祭日と決めて、サポートチーム主催で国立周辺をウォーキングする会です。

17名で参加。11月3日(土)に国立駅前から隣の国分寺駅方面に向かい、国立の住宅街を抜け、一橋大学学Yの一橋寮へ向かいました。由緒ある古い建物の中を学生寮長さんに案内して頂きました。ここの学生さんがかつて何人かが数回、武蔵野多摩クラブの例会に出席されたことがあるそうですが、続くことはなかったそうです。お互い近くにいい団体と認めても交流が続かないのは、何か年代の差、求めている中身の違いでしょうか。あらためて私達の今、続いている「ひつじくも」のことを思うと、「ひつじくも」への感謝で気持ちが一杯になりました。その後、足を国立駅前の桜並木の大通りを歩道橋の上から眺めて横切り、谷保駅裏になる谷保天満宮へ。境内の静かさにほっとして梅林の下で昼食をとり、次のくにたち郷土文化館内を見学。その後、事前に予約してあつ社会福祉法人「滝乃川学園」を訪問しました。石井亮一・筆子夫妻が明治24年にあった濃尾平野の大地震で親を失った子供達、それも障碍児を中心に開設した、入所施設から始まったものでした。今は、職業訓練を兼ねた成人部まであります。広い構内、白いチャペル。記念館で歴史の説明を受けました。明治期の公的な支援のない時に、あらゆる方面からの篤志家による支援。どんな努力でここまで歴史を続けたか、想像することが難しいほどでした。場所は南武線、矢川駅近く。

おい鶴を作ろう！

八王子クラブメネット:会長久保田佐和子
仙台の3クラブのメネットが、**2019アジア太平洋地域大会(7.19~7.21)**に「**平和七夕**」で、お迎えをしたいという計画をされています。

当クラブでもメンバーの、メン、メネットの協力を得てたくさん折鶴を送りたいと思います。

この折鶴は、横浜大会の時も辻メネットを中心にして沢山折りました。今回も皆さまのご協力お願いいたします。

折り紙は100円ショップで売っている縦横7.5CMの大きさです。折り方は、添付のチラシの通りです。折り紙は、私久保田が10日の第一例会に用意をしてメン、メネットにお渡しいたします。ご無理はいけませんが出来ただけでよろしいですが、お時間のある時、皆様で折って貯めておいていただきたく思います。冬場の炬燵の中でTVを見ながらでも、話をしながらでも指を動かしていただくと脳の活性化にも繋がると思います。皆様でお会いして一緒に作る時間があればとは思いますが、なかなかその様な時間が持てませんので、ご自宅で、職場で？出先で？いつも折り紙を持参して折っていただく手もあります。ご友人に勧めて折っていただくことも出来ます。

みな様のご協力お願いいたします。

西東京センター便り

中里 敦

寒いのはあまり好きではないので、あまり寒さを感じられない気候にホッとしながら、この冬のスキーキャンプは大丈夫だろうかと心配をしています。寒さは我慢するので、できれば雪がたくさん降って欲しいです。

先日、ある雑誌に原稿を書く機会が与えられました。自分の信仰とYMCAでの働きを結びつけながらの1800字程度の原稿でした。書くのが苦手というか、自分の考えを理路整然と述べるのが苦手な私としてはまさに悪戦苦闘の思いで、締め切り近くまでなかなか進みませんでした。やっとの思いで書き上げた原稿は、編集者からYMCAについて書かれているので、ご自身のことをもっと書いてほしいと返されました。書き直した後も、表現の仕方、YMCA用語、文章の構成など何回も表現の仕方をやり直しました。それはそれで大変だったのですが、編集者から学ぶこともありました。一番は読者の立場になって考えていることでした。当たり前のことですが、自分が書いているときは、自分のことだけでそこには相手は見えていなかったことに気づきました。相手にしっかりと伝わらないことには意味がないのに、これまで文章や言葉一つひとつにどれだけ気を使っていたかが分かりました。編集者の目に見えない読者と書き手の両方の気持ちを汲み、両者をつなげている仕事に関心と見習うべきところがありました。文章だけでなく、「伝える」ことを考える機会でした。今回は西東京便りではなく、個人的な内容になってしまいましたが、伝わる文章が書けたか心配しつつ今年最後の便りとなります。今年もお世話になりました。皆さまにとって恵み多きクリスマスと新年が迎えられます様お祈りいたします。

<西東京センター 主な行事予定> (12月)

◆11日(火)「のどレ教室」

@西東京センター 14時00分～15時00分
毎月(8月を除く)第2火曜日に行っています。

のどは一生必要な機能の一つです。意識してトレーニングしないと衰えを防ぐことはできません。誤嚥予防、ハリのある声やスムーズな滑舌を身につけましょう。

定員: 各回 30名 参加費: 700円/1回

中大ひつじくも便り

新委員長 2年 和崎竜也

この度、国際ボランティアサークル「ひつじくも」第20代委員長に就任致しました和崎竜也です。ワイズメンズのブリテンに携わることを大変光栄に思うと共に、自らの責任の重さを改めて感じている次第です。また、昨年度は宮内蒼也さんが委員長を務められ、いざ自分がその立場に就くとなった今、宮内さんの器の大きさやymcaにおいての存在感に感服しています。私は、ひつじくもに2年の春から入部し、約半年で委員長に就任したこともあり、歴代の委員長の皆様と比べて経験や知識が浅いですが、それ以上の情熱を持って皆様が大切にしてきた「ひつじくも」の意思を引き継いで行こうと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副会長の永吉真穂、恩田春香、川村拓らと一丸となり、ボランティア並びにYMCAとのつながりを大切に活動に精進して参りたいと思います。

ひつじくもを取り巻く状況としては、参加者の減少を認識しており、ボランティア以外のイベント(懇親会)や部員1人1人にあった活動の斡旋などをして、活動に取り組んで参りたいと存じます。

そして、ワイズメンズの皆様には、平素より寄付金を用意していただき、深く感謝しております。皆様の支えがあるおかげで日々の活動を続けることが出来ております。皆様とのつながりを活かした活動が部員たちの大きな成長につながっていることは、間違いありません。引き続き「ひつじくも」への温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



お話

「イスラエルでは12月の23日から30日まで「光の祭典」が行われます。今年の東京八王子ワイズのクリスマスの翌日からです。この8日間は9つの燭台のある特別な燭台に一夜に一燈宛毎日火をともしのが習慣になっているそうです。オリーブ油が用いられていたようで、最後の一つは保管油の台でしょう。「光明節」とか「光の祭典」と呼ばれています、創造の記の冒頭が「光」です。世界に向かって「光あれ」と叫びたい昨今です。

仲田達男

報 告

11月第二例会報告(長谷川)

日時:11月24日 18:00~20:00

会場:北野事務所小会議室2

出席者:久保田・小口・長谷川・花輪・福田・茂木・山本 (7名)

協議事項

一、クリスマス例会について

日時:12月22日(土)17時~21時(受付16時30分)

会場:八王子セミナーハウス(大学セミナーハウス)

第一部・・・さくら館セミナーA室 17時~18時

司会・・・山本 奨励・・・並木

第二部・懇親会・・・多目的ホール 18時~20時半

司会・・・茂木

会費:メン 2500円、メネット・ビジター・ゲスト 3500円、

学生 1500円

・中大ひつじぐものとりまとめ、白羊会への連絡は久保田会長

・スマイルは多摩いのちの電話へ

・プログラム・・・C班から並木さんに依頼の確認をとる。

※ 12月8日までに各班長を通じて申し込むこと

*在京ワイズ新年会について

日時:2019年1月5日(土)12:30~15:00(受付12時)

会場:京王プラザ「ル・クレール」 JR八王子駅前

・会長会は10時~11時半(久保田・中里)

会費:5000円

参加者:久保田・小口・中里・長谷川・花輪・福田・茂木(11月24日現在)

※ 12月8日までに各班長を通じて申し込むこと

(できたら12月8日に5000円を久保田会長へ)

*2018-19 第2回あざさ部評議会について・・・八王子クラブがホスト

日時:2019年2月9日(土)13:30~17:00(受付13時)

会費:2500円予定

評議会の司会・・・山本、聖書朗読・祈祷・・・並木、

懇親会司会・・・茂木

*第21回チャリティコンサート

日時:2019年3月16日(土)14:00~16:00

会場:北野市民ホール

・チラシとチケットは12月8日に配布予定(欠席者へは12月22日クリスマス例会にて配布)

・打ち上げ・・・ひげじい 3500円予定 学生1500円

・街頭募金・・・3月2日(土)・JCBLへは久保田さんが連絡

・プログラム・・・茂木さん

*創立25周年記念例会について

日程、場所、どんな形にするかなど継続審議

・記念誌・・・茂木

(次期クラブ会長についての話し合い・・・第二例会が第4土曜日では都合が悪ければ他日も検討しながら考える)

* 絹の道デイサービスセンター ボランティア活動

【報告】11月9日(金) ペーパーフラワー

参加者:赤羽、色川、下重、調、多河、山口、山中、茂木

【予定】12月14日(金) 14:00~15:00 ペーパーフラワー

* BF2018年8月報告 切手・プルタブ報告

切手: 国内 40g

海外 0g 累計 328g

プルタブ 130g 累計 5.63kg

高尾わくわくヴィレッジ便り 12月号

所長 古市 健

11月も終わり、わくわくヴィレッジも冬シーズンとなってまいります。気温の低い日が増えてきて、施設内の木々も多くが葉を色づかせ、乾いた音を立てながら雨のように葉を落とす木々も増えてまいりました。天気が良くて過ごしやすい日には、お母様などに連れられて小さな子ども達が遊びに来ていた原っぱも、今は閑散とした雰囲気の日が多くなってまいりました。今年は暖冬の可能性も示唆されておりますが、去年のような大雪に見舞われないか、少々心配もいたしております。

この11月も大変にありがたいことに多くのお客様に足を運んでいただくことが出来ました。閑散期に足を踏み入れているこの時期にしては珍しく、宿泊者数は2,400名を超えました。この規模の宿泊者数は実に5年ぶりの出来事で、例年では寒くなり学校の宿泊も減ってくる時期であるものの、今年150名規模の学校の利用などもあり、近年にはない賑やかな雰囲気のわくわくヴィレッジとなっております。多くの学校が活動支援プログラムを実施しており、当館スタッフの指導の下、楽しそうにプログラムに取り組む子ども達の姿が印象的でありました。これから12月以降は、小さな子ども達の利用は少し減ってまいります。代わりに大学生の部活やゼミでの利用が増えてまいります。学生たちの学びの場として機能するよう、しっかりとお迎えしていきたいと思っております。

また、11月には毎年恒例となっている「わくわくフェスティバル」を開催することができました。当日は天候にも恵まれ、およそ2,000名近くのお客様にご来館いただくことができました。秋の楽しい1日として、お客様の記憶に残る日となったなら幸いです。

12月誕生日のお祝い

古市 亜由美さん 12月2日

多河 敏子さん 12月6日

ブリテン編集委員

山本英次・茂木稔・大久保重子・多河敏子

<http://ys-east.jimdo.com/bulletin/okyohachioji/>